

児童養護施設へ愛知県産のいちごを寄贈しました

J A 愛知信連は、社会貢献活動の一環として、社会福祉法人中部善意銀行を通じて、愛知県下の全児童養護施設（35施設）に愛知県産のいちご（1,520パック）を寄贈しました。

この取組みは、日本の将来を担う児童の健やかな成長を支援することにより、児童に食の大切さや農業の大切さを理解してもらうとともに、県内農業の発展に寄与するため、平成28年度から実施しています。これまでに、巨峰、いちご、メロン、ポンカン、スイカ、柿、梨を寄贈しており、今回で12回目の寄贈となります。

いちごは、2月下旬から3月上旬にかけて各児童養護施設へ送付しました。



J A 愛知信連石黒経営管理委員会会長（左から3人目）より中部善意銀行岡田理事長（右から2人目）へ目録およびいちごを贈呈